

平成28年度

# 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

ウィルアークス

就労継続支援 A 型事業

就労移行支援事業

## 目 次

- ・ 1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ 2. 利用者状況について・・・・・・・・・・ 1～2
- ・ 3. 福祉事業報告・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
- ・ 4. 就労支援事業報告・・・・・・・・・・・・ 3～5
- ・ 5. 防災関連・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ・ 6. 職員処遇・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ 7. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  
- ・ 巻末 添付資料①

## 平成28年度ウィルアークス事業報告書

### 1. はじめに

4月14日の熊本地震が発生に伴い、施設運営に混乱が生じ、利用者の方々及び関係者の方々に多大なるご迷惑をお掛けすることとなり大変申し訳ございませんでした。また、ご支援をいただいた皆様に感謝を申し上げます。地震の影響により、施設運営に甚大なる被害を受けましたが、復興に向け職員一同一丸となり施設運営の向上に励んでまいりました。

### 2. 利用者状況について

利用定員 就労継続支援A型 20名

就労移行 6名

利用状況（平成29年3月末日）

現員 21名（男性：18 女性：3名） 年間月平均利用者数 19.97名

平成27年度利用者平均賃金	月額平均 61,258円
---------------	--------------

利用者の障がい状況

身体障がい		知的障がい		精神障がい	
男性	女性	男性	女性	男性	女性
9 (1)	0	8 (1)	2 (0)	2	1

( ) は重複している者

新規利用者 6名（男性：5名 女性：1名）

退職者 7名（男性：6名 女性：1名）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
採用	男		1	1		1	2						
	女						1						
退職	男	1			1			1	1		1		1
	女												1

本年度の新規利用者総数は、6名の受入であった。阿蘇圏域の支援センターよりの紹介の3名とハローワーク求人を見ての応募が2名、インターワークB型からの移行が1名あった。新規利用者は、すべて阿蘇郡市からの利用であった。

又、退職者は、7名であり退職理由は、以下の通りである。

- ・一身上の都合 3名
- ・他施設の利用 2名
- ・定年退職 2名

平成29年3月末現在で21名の利用者数である。

就労移行事業を始めたが、今現在、利用にいたらなかった原因の一つとして、就労移行事業の知名度不足が考えられる。

事業所の利用率見ていくと年間平均約65%の利用に留まっている。利用者の獲得に向けた取り組み不足が浮き彫りとなった。

利用実績は、巻末の添付資料①を参照のこと

### **3. 福祉事業報告**

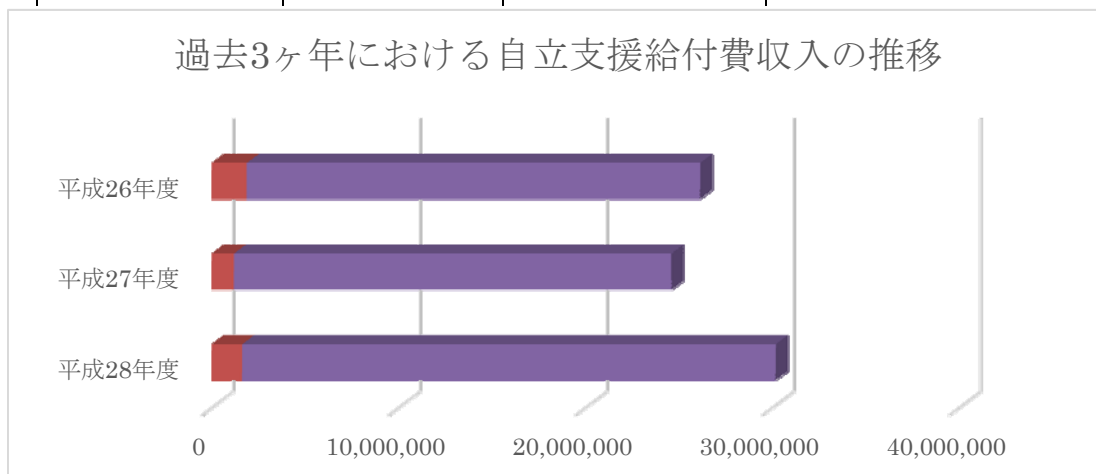
病気が原因の長期にわたる欠勤者数名あった為社員の方々へ健康管理に気を配り、定期健康診断後に再検査が必要な社員の方には、病院への送迎や個々の相談にのり、健康維持に努めた。

施設収入も3ヶ年の推移で、比較してみると、新規利用者が増えた事でここ3ヶ年一番高いサービス費収入になっている。平成27年度サービス費収入と比べると約500万円程上がっている。

しかし、利用者数は、一時的に増えたることができたが、定着していただくことができず、また、年度末の3月に定年による退職者が2名あり、来年度に向けたサービス費収入の大幅増の安定に繋がらなかった。

ウィルアークス 3ヶ年収入推移 【平成26年度～平成28年度】

	介護給付費	訓練等給付費	自立支援給付費合計
平成26年度	1,883,280	24,250,484	26,133,764
平成27年度	1,199,500	23,406,966	24,606,466
平成28年度	1,636,800	28,541,836	30,178,636



#### 4. 就労支援事業報告

4月の熊本地震の影響で、思うように収益も伸びない厳しい状況の中、運営の立て直しを最優先事項として行ってきた。農業加工事業にて新規取引先ができるが、閑散期もあり大きく売上を伸ばすことができなかった。熊本地震より既存取引先の生産見直しもあり、受注量の減産が続いている。又、10月に最低賃金の引き上げも行われ、715円となり、売上が伸びない状況下で人件費増となり、施設運営は、厳しい状況である。

こうした危機的状況下で、作業量の減産もあり、満足行く就労支援に結びつかなかったが、新しい仕事へのチャレンジを行い新たな作業を増やしていった。利用者の方々の適正も考慮し、自分にあった作業の幅を広げていただき売上増・施設運営の安定を目指した。又、できる限り無駄をカットし、備品・材料も無駄なく使いきることに努め、経費の削減も行った。

## 各事業報告

### ① プラスチック粉砕事業

現在1社の受注取引先であり、売上は、前年度より、減少傾向になっている。粉砕作業混入ミスによる不良赤点も出ており、作業場改善を行い、再発の防止に取り組む。新規品粉砕作業の話もでていますが、現存設備の問題もあり話が進んでいない。

### ② 製函事業

1社の取引先であり、地震の影響で5月の取引がなくなってしまうなど、売上は減少している。取引先の復興により、発注数が多少増加しているが、安定はしていない。取引先の状況を確認し、新規品の取り込みを行う必要がある。

### ③ 清掃事業

公共施設・一般企業、法人・個人住宅等のワックス清掃作業及び近隣の牧場や畜舎内などの清掃作業おこなった。本年度は、壁紙・クッションマットの張替を始めた為、売上が向上している。ワックス清掃の受注量は前年度同様多い数ではなかったが、畜舎内清掃作業は、安定した受注があり、利用者賃金も安定する事ができている。

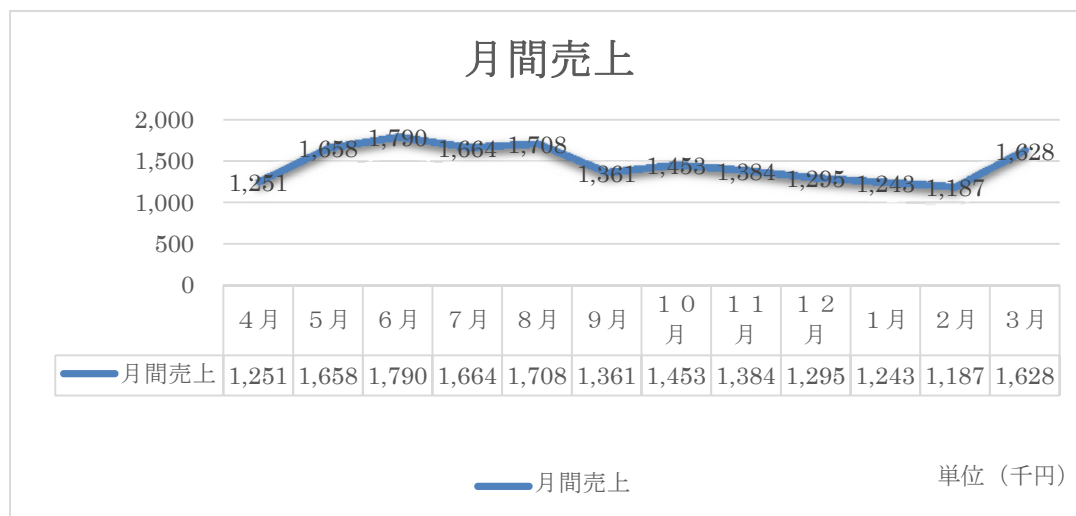
### ④ 印刷事業

H26年9月から始めた印刷事業も法人内各事業所、産山公共施設等を中心に印刷営業を行ってきた。生産効率の向上、コスト削減を意識し生産を行った。受注数は月ごとに見ると安定しておらず、差がでていますが、役場関連の受注は少しずつ増えてきた。

### ⑤ 農業加工事業

近隣農家へ行き農業品の加工を行った。今年度は、取引先が1件増え受注は拡大し売上は増加傾向にある。受注・売上を安定させる為、取引先のニーズに伴うよう作業を行ってきた。

## ウィルアークス就労収益



年間を通してほぼ横ばいの売上である。総売上額は、約1,700万円であり前年度の売上とほぼ同じである。

## 5. 防災関連

緊急時における防災対策の意識向上に努めた。

- ・ 集会等での意識向上
- ・ 防災マップの策定
- ・ 避難通路の確保
- ・ 消火設備の点検
- ・ 機械等の定期点検及び使用前点検の義務
- ・ 休憩室等のたばこの後始末についての指導・支援
- ・ 退勤時の点検
- ・ 防災訓練を2回実施

## 6. 職員処遇

施設業務に関連した専門知識の向上、習得を図る為授産施設協議会及び社会福祉協議会が主催する各種講習・研修会へ参加した。又、社会福祉に関する法令等に関する施設内職員研修も行った。

### ・主な参加研修会及び講習会

期日	参加研修及び講習会	参加人数
7月24日	社会福祉法人やまなみ会合同研修会	5名
11月1日	九州授産施設研究大会	3名
11月13日	社会福祉主事通信講座スクーリング	1名
11月17日	全国社会就労センター長研修会	1名
2月23日	全国社会就労センター長研修会	2名

## 7. その他

### ①施設見学

市町村や相談支援センター等を通じて、施設見学の依頼があった。

### ②職場体験実習受け入

本年度は、2件の職場体験を実施した。

印刷や粉碎作業を行い、職場マナーや働く意味を学んで頂いた。